

女子校フェア in 北海道

6月5日（日）の午後に、ホテルロイトン札幌で『女子校フェア in 北海道』が開催されました。道内の私立女子中学高校7校（北星学園女子、藤女子札幌・旭川・北見、聖心女子、函館白百合学園、遺愛女子）が集まって、女子校の魅力を道民の方々に伝えるという催しです。今年で3回目となりましたが、出席者は昨年のおよそ2倍の190名が集まりました。本当に盛況でした。

最初に、東京の鷗友学園女子中学高等学校の西川邦子校長先生の講演がありました。自らの高校生時代の体験も含めながら、女子校教育が女性の自立心や能力の向上に極めて効果的であることを話して下さいました。…女性と男性では能力の伸ばし方に違いがあり、大人の接し方としては、男子は隣に座って一人で頑張らせるほうがいいのに対して、女子はグループで話し合わせたり、目を見て笑顔で接した方が伸びる。女子は集団のなかで育つので、学校行事（学校祭、体育祭など）が大切で、受験勉強も「みんなで頑張ろう」という集団戦になる。女子校では「女性だから」という発想や「女子はここまでで良い」という発想はない。数学や理科でも、「女子は理系が弱い」という偏見が女子校にはないので思いっきり勉強できるし、教師側もとことんつきあう。今は、理系進学者が共学校の女子より多くなっている状況だ。学校全体が女子へ惜しみないエールをおくる体制ができています。…お話を聞いていて、鷗友学園だけでなく遺愛でも同様のことが間違いなく言えると思いました。

講演の後は、各校が10分間ずつ紹介し、個別相談が行われました。閉会ぎりぎりまで熱心に相談されていく家族が多数いらっしゃいました。

来年は6月3日（日）13:00に開催する予定です。（場所は同じくホテルロイトン札幌）



2011年6月9日